

「AGP 多様な社員の活躍推進～外国人社員と共にグローバル化に向けて」（総括）

【ノウハウの確立、財産の創出】

外国人従業員の雇用は航空・空港業界全体としては珍しくないものの、当社としては初めての試みであり、知見や経験のないまま手探りしながらのプロジェクトとなりました。

しかしながら一期生の育成から二期生への教育、成田支社への横展開にいたるまで、当初は戸惑いや苦勞、価値観の相違、意見の食い違いなどがありました。最終的に本社や支社、タイ人社員が同じ共通認識を持ち推進してきたおかげで概ね予定通りに進めることができ、タイ人社員を戦力とすることでマンパワーの効率化、生産性の向上を図ることができました。外国人受入方法や教育ノウハウなどの方法論を確立できたことは当社にとっても大きな資産となり、日本人向け新人研修にも使えるのではという声もあります。

また、この取り組みは単に「外国人を雇用する」という事以上に、言葉がハードルとなったがゆえに相手の立場になって考えることやお互いの多様性を許容し双方が歩み寄りを通じて相互理解を深める基礎が涵養できたことも大きな財産となりました。

加えて初めての試みだからこそ、試行錯誤しながら結果としてBPRを同時に行えたことも大きな財産となりました。



【今後の方針】

当社を取巻く環境を鑑みると国内だけでなく海外も視野に入れていかなければ企業の成長は望めません。当社は外国人社員の雇用により優れた人材を確保し、既存の業務方法に捉われず多様な視点を集め経営に活かしてまいります。また当社の技術とノウハウを身に着けた外国人社員のみならず国際的な感覚を身に着けた日本人社員を海外展開させることも可能になります。

AGP は今後もグローバル化・ダイバーシティ化を継続させていきます。

※BPR (Business Process Re-engineering)：業務改革

